

英語

| | 平成10年度 | 平成11年度 |
|--------|--------------------|----------------------------------|
| 県地 北区 | 表現力の育成 | 表現力の育成 中・高教員によるT・T |
| 県地 中区 | 4技能のバランスのとれた指導 | 4技能のバランスのとれた指導 中3：中・高教員によるT・T |
| 県地 南区 | 表現力を高める指導の在り方 | 表現力の育成 中・高教員によるT・T |
| 会地 津区 | 中・高連携における効果的な読みの指導 | 中高連携における効果的な読みの指導 中・高教員によるT・T |
| いわき 地区 | 4技能のバランスのとれた授業 | 4技能のバランスのとれた授業 中・高教員によるT・T |
| 相地 双区 | 表現力を高める指導 | 表現力の育成 高校教員による授業 |

◆ 4技能のバランスのとれた指導を目指して

中・高の英語教育には様々な違いがあります。その相違点の一つは、指導内容と指導方法及び指導形態という教員側の指導に端的に現れていることが確認されました。

そこで、生徒の英語学習をより効果的にするために、中・高でどのような歩み寄りが可能かということについて話し合いました。その結果、指導内容や指導方法による生徒のつまずきをより少なくするために、中・高共通の課題である表現力をとりあげるとともに、4技能のバランスのとれた指導について協議しました。

教員が一方的に説明を続ける授業や、生徒が板書された事項をノートに書き写すだけの形態の授業から、生徒が自ら課題を探し、自ら調べ、自ら解決していくとともに、4つの技能のバランスをとれた授業へと質的転換を行うためにどのようにすればいいかについて、協議を進めました。



熱心に研究協議をする委員（県中地区的英語科）